

地域に根差し共生する取り組み ～ 継続的なコミュニケーションと貢献 ～

社会と分かち合える価値の創造。

時代のニーズをとらえ、持続的な社会の成長に貢献すること。

それが、私たちの使命です。限りない、技術の挑戦へ。

これからも、化学のチカラで多様なソリューションを提供します。



山北工場

目次

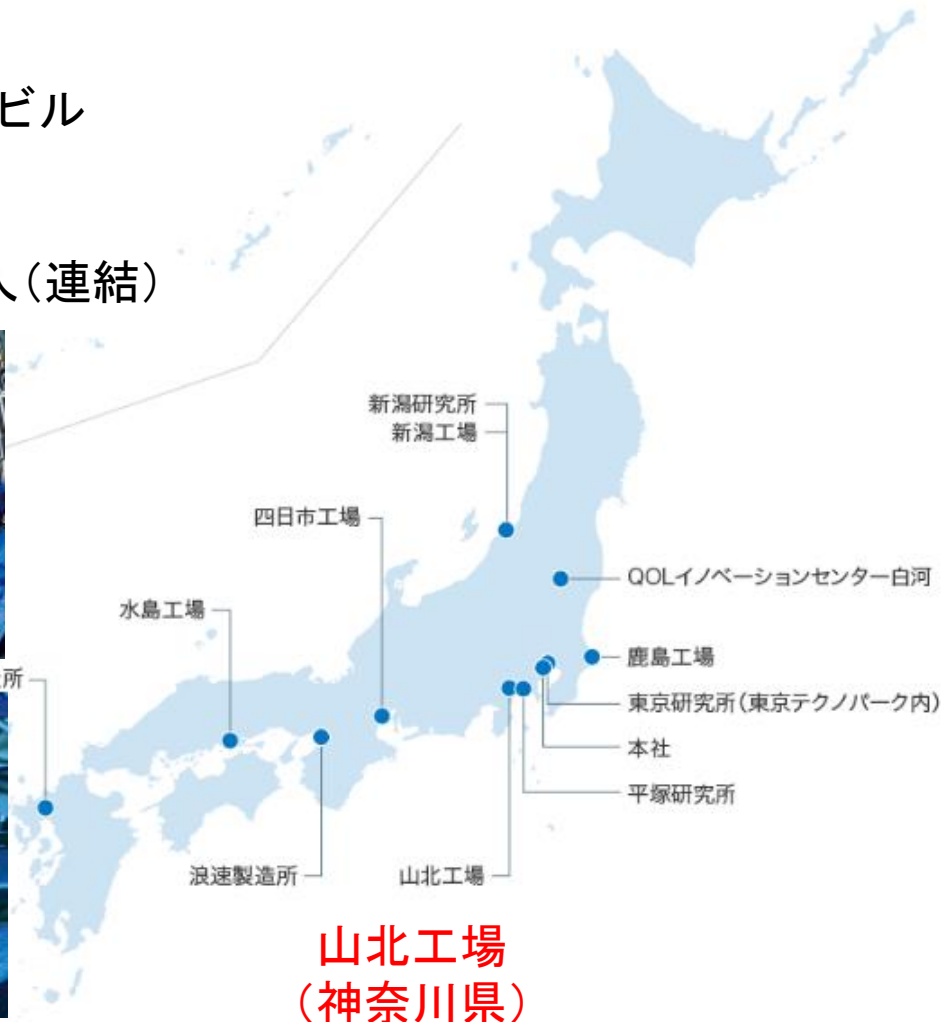
- | | |
|---------------------|--------|
| 1. 三菱ガス化学の概要 | P3 |
| 2. 山北工場の紹介 | P4 ~ 5 |
| 3. 地域に根差し共生する継続的取組み | P6 ~14 |
| 4. 社会の変化と近年の取組み | P15~21 |
| 5. 今後の取組み | P22 |

1. 三菱ガス化学の概要

- 社名:三菱瓦斯化学株式会社(登記社名)
- 本社:東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル
- 設立:1951年4月21日
- 資本金:419.7億円
- 従業員数: 2,448人(単体) 10,050人(連結)



佐賀製造所

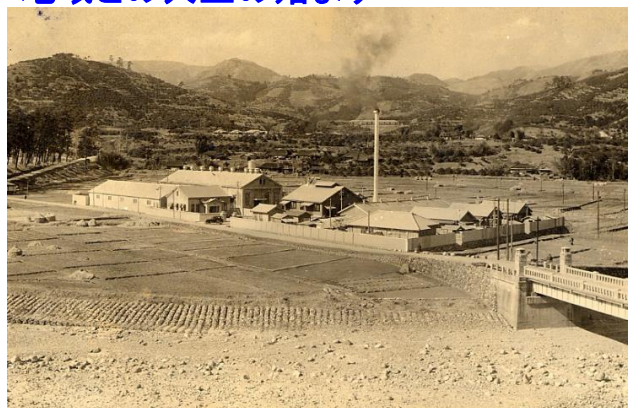


2. 山北工場の紹介

- 設立 : 昭和8年1月
- 敷地 : 約63,000m²
- 従業員 : 約150名(協力会社含む)

山北工場は神奈川県民の水がめにもなっている酒匂川の豊富な水資源を背景に日本初の電解法過酸化水素の製造工場として設立

写真は昭和8年 設立時の様子
地域との共生の始まり



山北町

神奈川県

設立から91年
現在の山北工場



町は県の西部に位置し風光明媚で自然豊か。人口は1万人を割り込んでいる。町に同規模の化学系企業はなく、この地での操業には地域との共生、信頼の継続が欠かせない。無事故・無災害をその前提としてRC活動に注力している

山北工場の製品

現在は半導体、電子部品産業に使用される超純過酸化水素、化学研磨液をはじめ、祖業の電解技術を生かした過硫酸塩類。環境保全に役立つ水処理剤、環境薬剤を生産。過酸化水素は使用後に水と酸素に分解される環境にやさしい化学物質

製品の荷姿例



25kg袋



200kg 樹脂ドラム



2トンコンテナ



10t タンクローリー

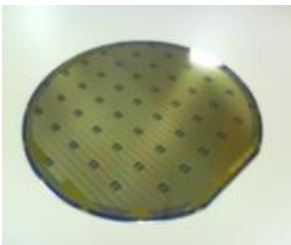


20t ISOコンテナ

超純過酸化水素の用途

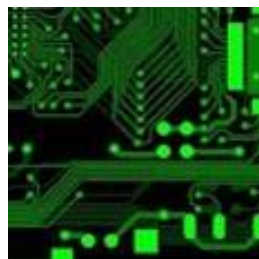


シリコンウェハ

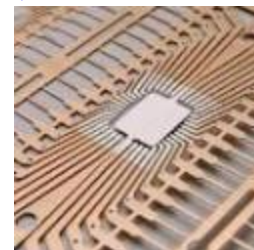
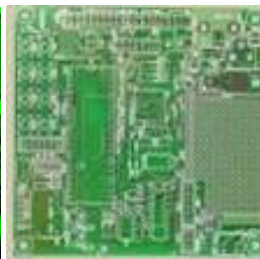


加工済みウェハ

化学研磨液: 金属表面処理剤の用途



プリント配線板のエッチング剤



銅表面の光沢化、平滑化、金型のバリ取り用薬液



3. 地域に根差し共生する継続的取り組み



3-1 伝統行事への参加と支援

毎年4月に行われる八幡神社例大祭。工場長をはじめとして従業員も大勢参加。地域に深く根差した伝統行事で当工場が巡回ルートに組み込まれている。担ぎ手衆を社員食堂に招き入れ、担ぎ手衆に休憩と軽食を提供している。工場長は八幡神社の正月神事にも参加している



3-2 地元自治会行事への参加・協力

地元自治会の風物詩である夏祭り。当工場はオモチャを多数揃えて出店。毎年この当てくじには子供達の長蛇の列ができ、あっという間に完売。残念ながらコロナの影響で今年もまだ中止に。代わりに開催された花火大会の来場者向けに工場の駐車場を解放



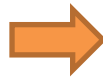
仕入れた大量のオモチャを特等～5等に分け、くじの数と合わせて小分け包装。出店準備も大忙し

3-3 工場施設の地域での利用

地域(学校・団体・自治会)の要望に応じて活用可能な工場施設を以前から利用してもらっている

- ・**体育館**利用(平日夜間)
地元高校のバレー部
- ・**グラウンド**利用(休日昼)
子どもサッカークラブ・野球チーム
- ・**テニスコート**
社員と一緒に地域の方々も
- ・**会社の駐車場や空地**
町・自治会の要望に沿って柔軟に

去年は町に息づく「お峰入り」という風流踊りがユネスコの無形文化遺産に登録され、10月に記念公演が催された。その際、工場の駐車場を利用いただく協力を行った



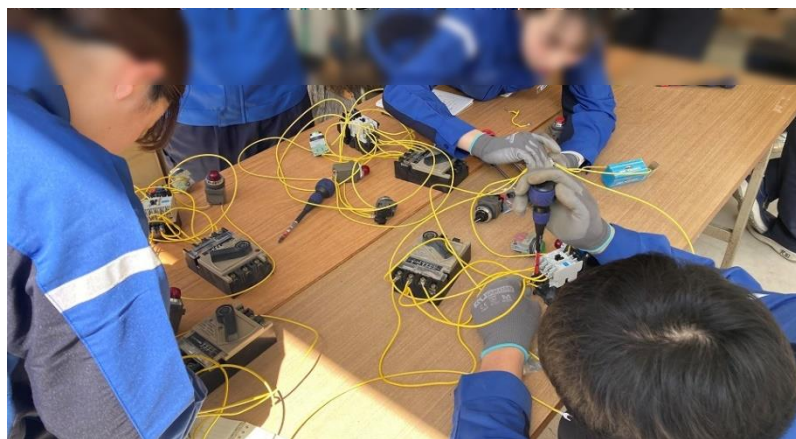
国指定重要無形民俗文化財		
① 山北小学校グラウンド	② 山北学童クラブ	③ 生涯学習センター多目的ホール
8:00-9:00 受付	11:50-12:30 進行き	9:10-9:40 セレモニー
9:10-9:40 セレモニー	④ 大野山山頂	9:50-11:00 記念公演 (1回)
9:50-11:00 記念公演	13:30-13:40 進行き	11:30-12:40 記念公演 (2回)
観覧席は有料です。 ※一部無料立見席あり	⑤ 神楽社	13:30-14:40 記念公演 (3回)
	14:40-15:50 伝承公演	

お参入り専用サイト
JR 御殿場線 山北駅

お問合せ/山北町教育委員会生涯学習課 TEL:0465-75-3649

3-4 企業体験学習・インターンシップ

当工場では地元中学生の企業体験学習、高専生のインターンシップなど、子供や学生に化学や仕事への意識を深めてもらうため、積極的な受け入れを続けています



小さなこの町には子供達への化学の体験を提供可能な会社が少なく、貴重な学びの場となっています

3-5 地域イベントへの参加と支援

小さな町で行われる地域の各種イベントには歴史ある工場として積極的に参加・協力。
丹沢湖マラソン、町内駅伝大会、桜まつり、もみじ祭り、花火大会、町の婚活イベント等



工場チームの参加がないとチーム数が減り寂しい駅伝大会に...



春の桜まつり

3-6 地元の消防分団に訓練場所を提供

新年の出初式に向けた訓練として、工場内の一角を夜間に使わせて欲しいとの要望を受け、地元消防分団に19時以降の夜間に、数か月間を利用してもらっています



各地の消防分団は担い手不足が深刻と聞きます。当分団には長年に渡って当社員が複数人所属し地域の防火安全に貢献しています



立派な出初式となるよう訓練を繰り返す消防分団員。工場で万一火災が発生した際にはお世話になります

3-7加盟団体に役員・委員として参加

地域の労務安全協会、防火安全協会、酒匂川水系保全協議会、産業廃棄物対策協議会などに加盟し、各団体の役員や委員としても協力している

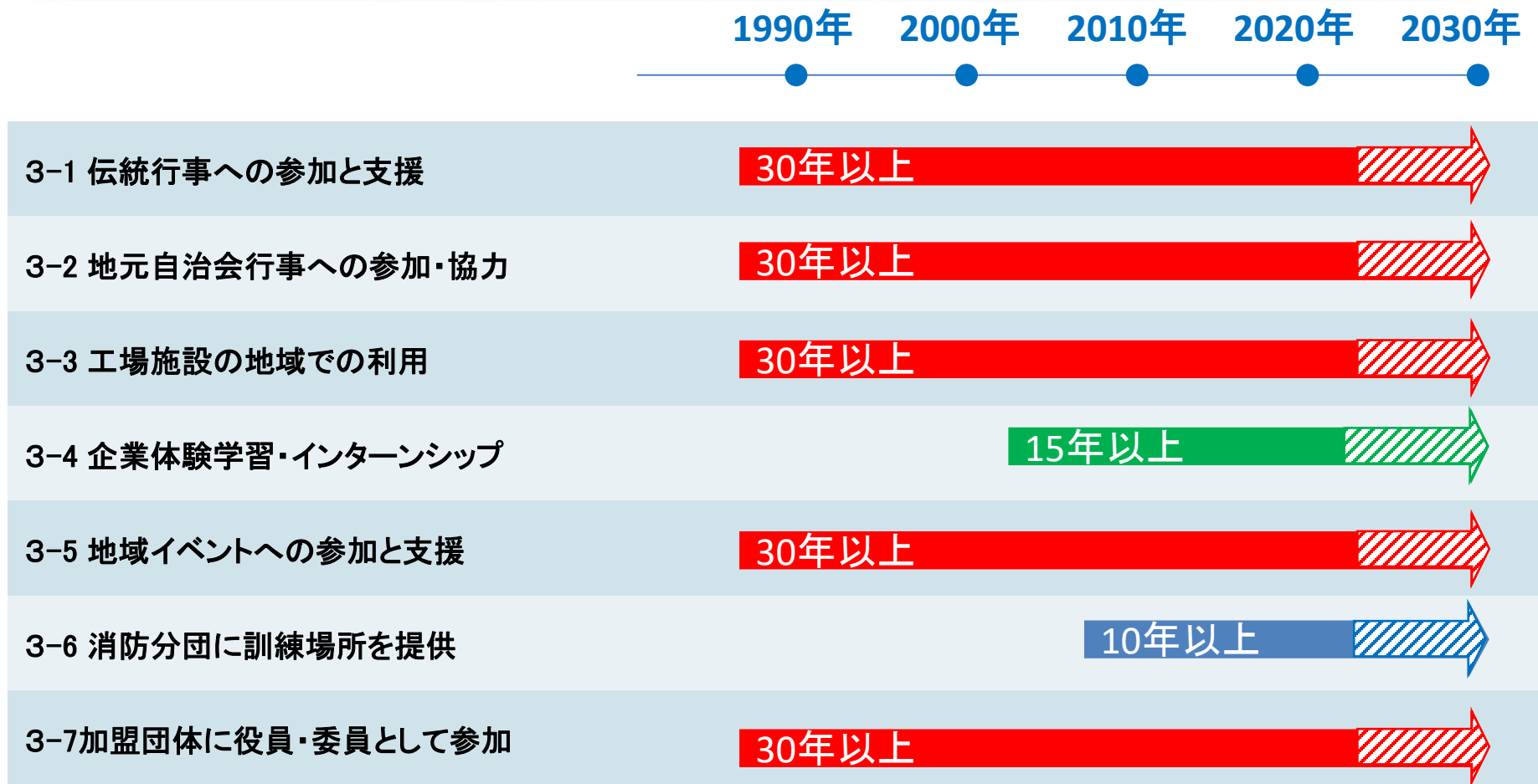
2市5町を管轄する防火安全協会の広域訓練に本部役員として参加。毎年11月に開催。消防署員が指導する訓練を補助



昨年の全国衛生週間・小田原地区推進大会では、昨年7月に安全に係る厚労大臣賞を受賞した当工場に記念発表の依頼あり

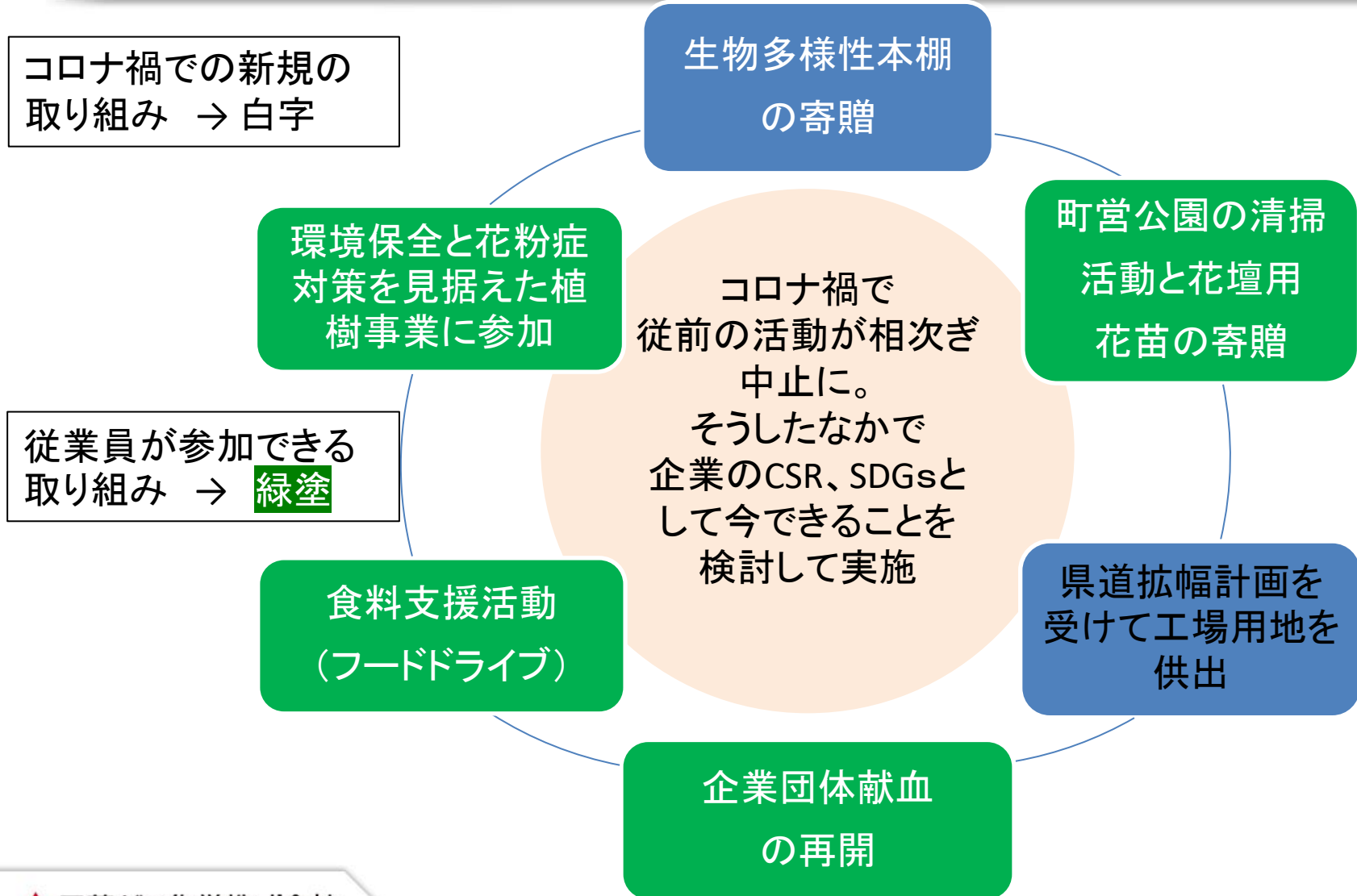


3-8 継続的取り組み まとめ



これまで継続した活動がコロナ禍では相次いで中止に
そこで新たな取り組みへも挑戦することに

4. 社会の変化と近年の取り組み



4-1 生物多様性を育む本の寄贈



生物多様性のためにできること。みんなで一緒にはじめよう。
 国連生物多様性の10年日本委員会
 Japan Committee for UNDB

国連生物多様性の10年日本委員会による「生物多様性の本箱」寄贈プログラムを活用して、自然の大切さ、関わりを学べる本と本棚を2021年に寄贈



本は小学校側が選びました



小学校の統廃合で町の小学生全員が1校に集うタイミングにあわせて寄贈。町や小学校と事前打合わせを重ねた

町の広報誌に掲載されました →

三菱ガス化学株式会社山北工場から
 図書と本棚を寄贈いただきました



6月16日、三菱ガス化学株式会社山北工場から川村小学校へ図書102冊と本棚を寄贈いただきました。寄贈いただいた図書は自然の仕組みや大切さ、人と自然とのかかわりを学ぶことのできる内容となっており、児童が自由に読むことのできる貸出図書として、本棚とともに図書室で活用していきます。

【問合せ】学校教育課教育班（電話）75-3648

4-2 環境保全と花粉症対策を見据えた植樹事業に参加

神奈川県とトラストみどり財団が共同企画する、緑を守り育てる「成長の森」事業に、工場からも従業員とご家族が一緒になって参加。将来の花粉症対策としての無花粉スギと無花粉ヒノキの苗を植樹。個人参加が基本のところ、企業として一昨年より参加



神奈川県の森林再生50年構想事業



親子での植樹の様子。将来、花粉症の人が減りますようにと思いを込めて



植樹した子の名が看板に掲載。子供の成長と森の再生をリンクさせた事業



4-3 食料支援活動(フードドライブ・フードバンク)

コロナ禍で食べ物に困る方々の急増を知り、2023年には工場に届く歳暮、更新が近い防災備蓄食品、社員の寄付食品を集めNPO法人に届けました。2024年も1月に届け、法人の広報誌で紹介されました

- 生活が苦しいひとり親家庭
- 両親が揃っていても生活が苦しい家庭
- 基礎年金だけで暮らす高齢者
- 外国の方で生活が苦しいかた。



三菱ガス化学株式会社様

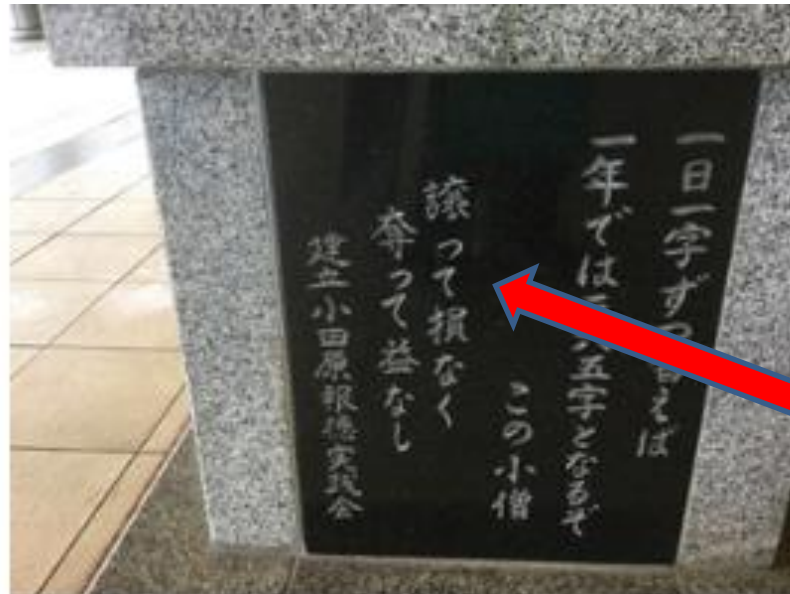
いろいろな種類の食品を
たくさんいただきました。

報徳食品支援センター 〒250-



NPO法人 フードバンク(神奈川県西部)
報徳食品支援センター

この地域は二宮尊徳(幼少名:金次郎)生誕の地。『譲って損なく、奪って益なし』の報徳思想が互助の精神を育む





4-4. 企業団体献血の再開

普段でも不足気味の輸血用血液がコロナ禍では更に不足し、日赤のWEBサイトにはSOSが。工場では献血者数の減少から18年ほど前に停止していた団体献血を、2022年に協力会社の協力も得て再開。2023年も11月に実施しています



献血
命をつなぐ献血にご協力をお願いします!!

神奈川県では、毎日約900人分の献血が必要です。
血液は、人工的につくことも、長期間保存することもできません。輸血を必要とする患者さんに血液をお届けするためには、皆さまの献血が必要です。誰かの未来をつなぐ「献血」に、ご協力をお願いします。

献血日程
2023.11.9 木
受付時間 14:00~16:00
受付会場 集合棟 第一会議室

以下に該当する方は、今回の献血をご遠慮いただいています。

- インフルエンザの予防接種を24時間以内に接種した。
- 歯石除去を含む歯科治療を3日以内に受けた。
- 海外からの帰国(入国)日から4週間以内。

日赤新十津川 特別献血車出張センター | 問い合わせ 048-228-9907 (平日9時~17時) | QRコード | Facebook



献血協力者はこの日に向けて仕事をやり繰りし体調を整えて参加。昨年に続き今年もと20名を超える献血がありました

4-5 町営公園の清掃活動と花壇用花苗の寄贈

工場では月1回の特別清掃日を設けて周辺道路のごみ拾いを長年行ってきました。2022年からは年に数回、近くの町営公園まで足を延ばし、きれいな公園の維持に協力。コロナ全盛の2021年には町にネモフィラの種を寄贈し、春の花壇を彩ってもらいました。



大勢の子供や高齢者が憩う、町で一番大きな公園。コロナ禍にあっても季節を感じ心もちが明るくなるようにと花種も寄贈

町の広報誌で紹介されました

桜とネモフィラが咲き始めました

くみの木近隣公園の桜とネモフィラがきれいに咲き始めました。
ネモフィラはシーズンより少し早いですが、桜と合わせり見ごたえがあります！



コロナ禍でも可能な協力はないかと町の担当課と相談。花種の要望を知った

4-6 県道の拡幅計画への協力

酒匂川と工場の間を走る県道は大型車の行き違いに苦勞する幅で、渋滞解消や歩行者安全確保のための拡幅が長年望まれていた

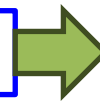


漸く県の拡幅工事が決定され、これに伴い県からの用地供出要請に工場として協力



一昨年に工事が始まり今年の2月に漸く完工

工場の事務所3階から撮影



川沿いでの工事につき、工事車両や工事資材の置き場がないことから、工事期間中はそれらの一部を工場敷地内に留め置く協力もしている



5. 今後の取り組み 絶滅危惧種となっているメダカの里親に

♪ ♪めだか～の学校は～川のなか そつとのぞいてみてごらん…♪ ♪

誰もが歌い知る、童謡「めだかの学校」は酒匂川水系の用水路にいるメダカを息子さんと眺めた際の会話（終戦当時）をもとに童話作家の茶木滋さんが作詞されました。

この「酒匂川水系のミナミメダカ」は現在では絶滅危惧種(レッドリスト)に指定され、流域の小田原市では万が一、生息地や他の飼育地に何かあった場合の危険分散として保護飼育をしています。より多くの人の手で増やすことで種としての絶滅を回避するために「メダカのお父さんお母さん制度」を20年以上前から実施。メダカが増えたら市に提供してもらって、少しずつ飼育の輪を広げる里親活動をしています。

ミナミメダカ *Oryzias latipes*

来年度、山北工場はこの里親制度に参加する予定です

レッドリスト	県力テゴリ：絶滅危惧IA類（ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）
	国力テゴリ：絶滅危惧II類

酒匂川の各水系から採集されたミナミメダカを分析したところ、酒匂川水系のメダカは過去と現在の遺伝子組成にほとんど変化がないことが判明しました。そのため、この地域は現在も在来メダカが生き続けていることが証明されています（神奈川県HPより）

